

月間報告書 9月分

学籍番号： 留学先 ：ポルトガル コインブラ大学
 氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
 年次 ：3年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：H01

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Estruturas da Língua Portuguesa B1	ポルトガル語の構造	180	授業
2	Cultura Portuguesa B1	ポルトガル文化	120	授業

II. 授業内容

No.1

この授業では、ポルトガル語の文法について総合的に学ぶ。9月で初回の授業だったのでガイダンスも含めた授業を行った。この日は、自らが学習中の外国語の進歩状況やポルトガル語学習に関してのアンケートをとった後、出されたテーマに関する各自の意見をポルトガル語で文章作成して先生に添削してもらうといった授業を行った。初回の授業で聞くことに必死で、自分の意見等を発言することの難しさを痛感した。

No.2

この日は授業そのものは行っておらず、あるブラジル人の方の講演会に出席し演説を聞いた。やはりリスニング力が乏しいために聞き取るのも非常に困難だった。

III. 生活編

コインブラに到着して約2週間が経ち、ようやく生活する面でも慣れてきて精神的にも余裕が出てくるようになりました。今回はひと月目の報告書になるのでここでは日本出発前の様々な手続きとポルトガルに入国後の様子について報告します。中でもビザの申請が非常に大変だったので少し詳しく記します。

1. ビザ申請等の手続きについて

私がコインブラへの留学が決まってからまず初めに取掛かったことは現地での滞在場所探しでした。私はセミナー等に参加しておらず現地に連絡を取り合える当てもなかったのですが、過去にコインブラ大学に留学した先輩で知り合いがいたので相談してみるとその先輩の滞在していたホームステイ先を紹介していただき、そちらで滞在させていただくことになりました。実際にはGW明けに先生にもご協力いただき連絡を取り始めることになりました。それがひと段落するとビザ申請をするために必要な書類作成等に取り掛かりました。いくつか種類がある在留査証の中でE6を選択しなければなりません。似たようなタイプでD4がありましたが、その場合ビザの発行までの日数が非常に長くなってしまいますのでE6でいいと思います。ポルトガル大使館のHPにアクセスし、中期滞在査証を選ぶと必要書類等が記載されています。中でも犯罪経歴証明書とアポステイユは取得する際に少し手間がかかります。犯罪経歴証明書は本籍地の警察庁本部まで出向かなければならず、私の場合6月中頃にその手続きを済ませました。県によって必要な書類が異なるのと、また訪問するための予約を取ることも必要なので事前に警察庁に連絡する必要があります。その犯罪経歴証明書の受け取りが終われば、アポステイユの申請に取り掛かりました。私の場合、外務省に直接出向いて手

続きしに行き郵送で受け取りました。こちらは東京か大阪にあり、出向くことが難しければ郵送でも可能ですが、その場合受け取りまでの時間が長くなります。またこの申請には犯罪経歴証明書が必要書類となるので、まずそれを取得してからの申請になります。他に英文残高証明書も少し分かりづらいつ感じました。これはHPに詳しい金額が記載されていなかったのですが、実際必要となるのは45×滞在日数+85(€)分の残高がある証明書を提出しないと行けないと言われました。予め大使館に訊いてから手続きに取り掛かる方がいいと思います。その他の書類として、航空券の予約証明書は私はネット予約だったので、予約した際のお客様控えのページを提出しました。それ以外の書類も全てそろえ終えて、ようやくビザ申請するためにポルトガル大使館に向かいました。最初は大使館が東京にしかないのでは書類を郵送で送ろうかと思いましたが、実際には直接大使館まで出向くように大使館から伝えられました。その際も行く日時の予約電話が必要です。私は7月の下旬に申請に向かい、手元に届いたのは9月初めでした。ただその時期は毎年非常に混み合う時期でビザが発行されるのも出発ギリギリになることもあるみたいなので極力早めに手続きに取り掛かる方がいいと実感しました。また書類のうち大使館に提出する際に少し注意が必要なこととしてはパスポートはオリジナルとコピーしたもの(カラー)が必要だったことと返信用のレターバックはライトでなくプラスを選ぶという点です。私が申請した時期でも間に合いましたが、私が記した時期より早めに取り掛かる方が余裕をもってできるので、留学予定者の方の参考になればと思います。

2. 入国後の様子

私が現地に到着したのは、向こうでの授業開始の約1週間前でした。空港に着いたのが夜遅かったため、周辺のホテルで一泊してから翌日ホームステイ先へ移動しました。移動手段としては地下鉄とsete riosという長距離バス乗り場から出ているコインブラ行きのバスを利用しました。

また現地到着後は外大への安着報告と在留届のオンライン提出が必要ですが、それ以外に授業開始までにこれという手続きはなかったため向こうでの生活に早く慣れるよう過ごしていたという感じです。

月間報告書 10月分

学籍番号： 留学先 ：ポルトガル コインブラ大学
 氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
 年次 ：3年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：H01

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Estruturas da Língua Portuguesa B1	ポルトガル語の構造	1320	授業
2	Cultura Portuguesa B1	ポルトガル文化	1080	授業
3	Comunicação Escrita B1	ポルトガル語文章表現	900	授業
4	Comunicação Oral B1	ポルトガル語口頭表現	900	授業
5	Laboratório B1	CALLポルトガル語	540	授業

II. 授業内容

No.1

文法についての授業で今月は人称代名詞、完全過去/不完全過去/大過去の用法・使い分けの範囲について学んだ。

No.2

この授業は週に二回あって一つはポルトガルの伝統文化に関して学ぶ授業でもう一つはポルトガルの歴史について学ぶ授業。今月は伝統文化に関する授業では古くから伝わるポルトガルの伝説、ポルトガル伝統の祭典や民族衣装、宗教などといったテーマを取り扱った。一方、歴史に関する授業ではポルトガル語の成り立ちやポルトガル王国建国からの歴史に関して学んだ。

No.3

この授業ではポルトガル語での文章の作成を学ぶ授業。今月は主に手紙やメールの書き方、その中でもフォーマル・インフォーマルで使い分けができるよう学んだ。また、イラストを見て考えられる文章の作成や物語の要約などに関しても学習した。

No.4

配布されるプリントを使用してペアワークを行ったりすることが多かった。またこの授業は一人ひとりに対して先生から質問が行われるので最もコミュニケーションをとる授業である。

No.5

CALL教室でパソコンに音声を吹き込みデータを提出し先生による発音矯正を受けたり、アクセント等の音声記号の仕組みについて学んだ。

Ⅲ. 生活編

到着から約1か月が経ち、平日は学校に通ったりとこちらでの生活も安定するようになりました。授業は月曜日から木曜日の4日間で大体1日2コマといった時間割ですが、こちらでの授業は2時間か3時間といったように1コマの授業時間が非常に長いのが特徴的です。クラスは初めにクラス分けのテストが行われ分けられたので、日本人の学生は少ないですが、その分様々な国籍の学生と交流できるので良い経験になります。授業はすべてポルトガル語で行われるので解説等を聞き取るのに常に集中力を欠くことはできず、また私の場合授業についていくためにも次やる範囲を予習をすることは欠かせませんでした。帰宅時間は日本にいたときより早くなったので帰ってからの授業課題や復習等の自宅学習は余裕をもって取り掛かることができました。休日は時間がたくさんあるので買い物に出掛けたり、街の散策をしたりしてこちらでの生活を楽しむことができます。また、同じくこの大学に留学している日本人学生の方々と食事会や日本語を学んでいるポルトガル人との交流会などといった機会もあつたりして、勉強だけではなく様々な経験ができています。今後、もっともっとあらゆる人と交流し、語学力を高めていけたらと思います。

月間報告書 11月分

学籍番号： 留学先 ：ポルトガル コインブラ大学
 氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
 年次 ：3年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：H01

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Estruturas da Língua Portuguesa B1	ポルトガル語の構造	1020	授業
2	Cultura Portuguesa B1	ポルトガル文化	960	授業
3	Comunicação Escrita B1	ポルトガル語文章表現	540	授業
4	Comunicação Oral B1	ポルトガル語口頭表現	720	授業
5	Laboratório B1	CALLポルトガル語	720	授業

II. 授業内容

No.1

今月は主に話法と接続法の範囲を学習しました。話法の学習では先生による発言を瞬時に間接話法にして他の人に伝えていくといった伝言ゲームのようなものを行ったりと楽しめる授業もありました。接続法の範囲では従属節における接続法・直接法の違いに関してや副詞節における接続法について学びました。

No.2

歴史の授業ではポルトガルの歴代の国王についてやコインブラに因んだ歴史等について学習し、今月末に試験を行いました。そのため歴史の授業は今月で終了し、来月からは伝統文化の授業のみになります。今月の伝統文化の授業ではポルトガルの音楽やコインブラ大学の歴史等、また地域ごとの有名な料理について学びました。

No.3

先週に引き続きポルトガル語での文章作成を行い、先生による添削を受けるといった授業内容が多かったです。他に人称代名詞や過去・半過去・過去完了形の使い分けの演習問題等も行いました。

No.4

先月に続いて、授業ではペアワークを多く行いました。また今月はテストが2回あり、一つ目は口頭試験で学生2人と先生との3人での会話のテストで、もう一つはリスニングのテストでした。口頭試験はそれまで授業で取り扱っていた内容に関して意見を述べ合うといった内容でした。

No.5

音声記号について学び、課題の文章や自分で作成した文章を録音して先生による発音矯正の指導を受けました。特に続く語の頭が母音の場合に語をつなげて発音することの大事さを頻繁に教わりました。

Ⅲ. 生活編

今月はOral、Culturaの授業でテストがあったためテスト勉強に費やす時間が多かったです。特に文化のテストでは覚える内容が非常に多かったのでテスト前の休みの日はそれに備えての自主学習をしていることが多かったです。また今月はクラスメイトとのホームパーティーや日本人留学生とポルトガル人との食事会などもありました。日本語を学んでいるポルトガルの方たちで、私たちがポルトガル語を教えてもらったり、逆に彼らに日本語を教えたりといった場でとても良い交流ができました。今月は本当に充実した日々だったため1か月が経つのがあっという間に感じました。

11月に入り雨季にも突入したため気温も下がり、天気も雨と曇りの悪天候の日々でした。学校では教室に十分な暖房器具が日本のようには備わっていないため授業中は寒さを感じる事が多く、自ら防寒対策が必要だと思いました。

授業も半分以上を過ぎたためもあり、日に日に勉強に関する焦りも感じてきています。こちらでの生活は思っていた以上に自由な時間があるので、その時間を有効に活用できるようにしたいです。

月間報告書 12月分

学籍番号： 留学先 ：ポルトガル コインブラ大学
氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日
年次 ：3年次 留学区分：派遣留学
クラス ：H01

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Estruturas da Língua Portuguesa B1	ポルトガル語の構造	900	授業
2	Cultura Portuguesa B1	ポルトガル文化	600	授業
3	Comunicação Escrita B1	ポルトガル語文章表現	540	授業
4	Comunicação Oral B1	ポルトガル語口頭表現	540	授業
5	Laboratório B1	CALLポルトガル語	720	授業

II. 授業内容

No.1

今月の初めは中間試験がありました。長文読解、文法問題、ポルトガル語作文といった内容でした。特に長文読解ではわからない単語が非常に多く、語彙力の乏しさを痛感しました。もっと様々な文章を読み語彙力を高めていきたいです。授業の内容としては先月に続いて語法や接続法の問題を解いたり、人称不定法・非人称不定法について学びました。

No.2

第一回目の授業は中間試験でした。試験内容はこれまで取り扱ってきたポルトガルの伝説についてや大学の歴史、民俗衣装、ポルトガルの食文化についてでした。試験後の授業では国の成り立ち、ポルトガル国旗について、詩人Camõesに関してやポルトガル語圏について学びました。

No.3

今月は文章読解や文章を作成し先生による添削・指導を受けました。中間試験では出されたテーマについてのポルトガル語作文の作成でした。試験には辞書等の持ち込みは許可されないため、やはりもっと知っている語数を増やしておかないとなと思いました。

。

No.4

今月は三回目の試験がありました。今回の試験は一回目の試験と同じ形で二人ペアで15分間会話のやり取りを行い、最後にそれぞれ先生からの質問に答えるといったものでした。会話のテーマは希望の職種についてで、生徒同士で模擬面接を行いました。また普段の授業ではそういった仕事についてのペアワークやポルトガル語のことわざ、派生語に関する問題などを学習しました。

No.5

先月に引き続き、ポルトガル語の文章を発音に注意しながら読み、録音データを先生に提出して先生により各自指導を受けるといった授業形態でした。中間試験では音声記号・アクセントの位置・リスニングの問題と文章の音読を行いました。

Ⅲ. 生活編

今月は全ての授業において中間試験があったため、試験に向けての勉強をしている時間が多かったです。日本語学習中のポルトガル人の知り合いとの交流も時々あり、その際に授業で分からなかった点などについて教わることもできるので、非常に良い環境だと感じます。週末にはそういったポルトガル人の友人宅での食事会などに参加したりして、ポルトガルの伝統料理や音楽、ゲームなどを知る機会もあり、とても充実した日々を過ごせました。

気候的には気温の急激な低下もなく、日本に比べると暖かく過ごしやすい気候だと感じます。ただ天候は割と変わりやすく、雨も降ったり止んだりといった天気が多いです。また今月中旬は非常に荒れた天候が続き、地域によっては警報が出ていた日もありました。

来月は授業があと1週間で終わり、最後の期末試験を受けて帰国する月なので、今から少しずつ身の回りの荷物の整理をし始めています。残りの時間も本当にあつという間だと思うので、時間を有効に使って過ごせたらと思います。

月間報告書 1月分

学籍番号： 留学先 ：ポルトガル コインブラ大学
 氏名 ： 留学期間：2019年09月20日 ~ 2020年03月31日
 年次 ：3年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：H01

I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Estruturas da Língua Portuguesa B1	ポルトガル語の構造	300	授業
2	Cultura Portuguesa B1	ポルトガル文化	240	授業
3	Comunicação Escrita B1	ポルトガル語文章表現	180	授業
4	Comunicação Oral B1	ポルトガル語口頭表現	180	授業
5	Laboratório B1	CALLポルトガル語	360	授業

II. 授業内容

No.1

ポルトガルの新聞記事を用いての読解問題を解いたり、文法に関しては能動態・受動態について学びました。

No.2

今月の授業ではポルトガルの建築様式について学びました。期末試験ではポルトガルの有名な詩人についてやポルトガル王セバスティアン1世について、またポルトガル語圏についてや建築様式についての内容が出題されました。

No.3

先月の試験で作成したポルトガル語作文に関して各自、添削・指導を受けました。また、従属節において接続法を用いる文章について学び、その語法を用いてのポルトガル語作文を行いました。

No.4

冬期休暇後の授業だったので休暇の過ごし方について一人ずつ発表したり、先月の授業でポルトガルの伝説について学び終わったところだったので、今月は各自が自国の伝説についてポルトガル語で伝えるといった内容の授業を行いました。

No.5

先月に続いて、自分の音声を録音したデータを先生に提出し、発音矯正の指導を各自受けていくといった授業形式でした。その他にも比較的短い会話文を聞いて書き写すといった問題や誤った発音の仕方をしている音声データを聞いて、指摘して正すといった演習問題を行いました。

Ⅲ. 生活編

今月の気候は先月に比べて比較的安定していて、また過ごしやすい気温でした。年越しはコインブラでも花火があげられ、アーティストによる野外ステージといったイベントで非常に多くの人が集まり賑わいました。

そして今月は留学生活最終の月でこの約4か月間本当にあつという間だったと改めて感じました。今月の授業は1週間のみで翌週は最後の期末試験がありました。1日目に筆記の試験 (Estrutura・Escrita) を行い、2日目に口頭試験 (Oral・Laboratório) を行いました。試験は全科目これまでの授業で取り扱った内容に関しての出題でした。試験の結果については試験期間の翌週にメールで送られてきました。

また帰国後に必要となる成績証明書と修了証明書の発行を早めてもらう必要があり、大学の事務に依頼しなければならなくて私の場合、11月の半ばにその依頼をしました。この二つの証明書を発行してもらうには30€の手数料が必要でした。

帰国までの期間はこの留学期間で親しくなったポルトガル人の友人やクラスの友人とお別れパーティをしたり、少し旅行をしたりして充実した日々を過ごせました。ホストファミリーとの別れの際は非常に寂しく、またこの場所に戻ってきたいと思いました。